

主催：科研「大正・昭和戦前期を中心とする教育と近代仏教に関する学説史的・実践史的考察」

共催：科研「明治・大正期の高等教育機関における宗教系サークル活動の総合的研究」

2024年3月13日(水)

講師：ブレニナ・ユリア

(大阪大学グローバル日本学教育研究拠点 特任講師)

時間 14:00~15:30 講演
15:45~18:00 質疑

対面 大谷大学 慶間館 5階 K504教室
対面参加は科研メンバーのみとなります。

WEB Zoom 同時配信
末尾の連絡先に事前申込みをお願いします。

二〇二三年度 第三回研究会 (公開)

「近代仏教と青年」

―明治・大正期の高等教育機関における 日蓮系学内サークルの事例から―

講演要旨

近年、近代日本宗教史の分野では、明治・大正期の青年を取り巻く宗教や修養などの「宗教的なもの」に関心が高まっており、学歴エリートとキリスト教や仏教などとの関わりが明らかにされつつある。こうした中、報告者は旧制高等学校・専門学校・大学で活動した、キリスト教系と仏教系(宗派に偏らない、いわゆる「通仏教」系や、浄土系・日蓮系・禅系など)の多彩な学内サークルの存在に着目し、その活動実態と展開過程および相互関係を検証するために、科研費プロジェクト「明治・大正期の高等教育機関における宗教系サークル活動の総合的研究」(二〇二三年度採択基盤研究C・二三K〇〇〇六六)を立ち上げた。

本報告では、同プロジェクトの概要に触れつつ、各教育機関が発行していた校友会誌や年史等を主な分析対象に、とりわけ日蓮系学内サークルの事例を紹介する。こうした事例を通して、実学重視の近代高等教育において宗教の位置づけが曖昧化し周縁化する中、青年たちは仏教とどのように関わり、そして仏教に何を見出したのか、その一端に迫る。

早稲田大学中央図書館蔵『妙宗』第7編第5号
(師子王文庫、1904年7月)の表紙(部分)

宗門教育の曙光

早稲田大学中央図書館蔵
師子王文庫

※ 科研メンバー以外の方はオンライン参加となります。オンライン参加をご希望される方は、

慶應義塾大学 眞壁宏幹 (hmakabe@keio.jp) までお問い合わせください。URLをお送りいたします。